

滋賀交通
6月21日から

北山台～野洲駅間バス路線 大幅な減便を計画



滋賀交通に要望する日本共産党市議団と市民(4月27日)

滋賀交通が北山台～野洲駅間のバス路線の大幅減便を計画しています。日本共産党野洲市議団と湖南市議団、住民らは4月27日、滋賀交通に、「市民の暮らしに欠かせないバス路線。減便をやめ存続すべき」と申し入れしました。

公共交通機関として責任を自覚し 市民生活に欠かせないバス路線を守れ

27日の要望では、滋賀交通が計画している北山台～野洲駅間のバス路線の大幅減便ではなく、公共交通機関として利用者の利便性を図ることを「バス運行方針について市民に説明をすること」などを求めました。

滋賀交通が予定している減便計画は、現行32便から18便にするとしています。このようなことになれば利用者離れに拍車をかけ利用者にとって一層、不便になります。この件で野洲市として、「市内循環バスを3便増便し影響に対応する」としていませんが根本的な対策にはなりません。

要望に参加された市民から、「いずれ年を取れば買物に行くのにバスがなければ困る」「いまでも夜9時以降便がない」「駅や病院までタクシーを利用すれば運賃が高くて大変」と交通手段を待たない方から窮状が訴えられ存続の声が出されました。

滋賀交通への要望書

貴社におかれましては、野洲市・湖南市における路線バス運行に関し、市民の暮らしに欠かせない唯一の公共交通機関として、その役割を果たしていただいております。しかし、昨今、野洲駅・湖南市北山台間の路線バスが、減便、廃止と聞き及んでいます。

市民からは、減便と路線廃止について、不安と心配の声が上がっており、「市民生活に欠かせない路線バスを守ってほしい」との切実な願いが、日本共産党議員団に寄せられています。

このバス路線は京都、大阪方面への通勤・通学、野洲病院、守山市民病院への通院、日常の買い物など、なくてはならない重要な路線であります。

高齢化していくこれからの地域社会は深刻であります。子どもや高齢者、障害者など、自ら交通手段を持たない社会的弱者の足として、いつまでもバス路線が守られ、安心・安全の確保につながるように、その責任を果たされることを要望します。

1. 野洲駅・北山台間のバス路線を守り、減便でなく、利用者の利便を図られることを要望します。
2. 貴社のバス運行方針について、市民に説明を求めます。

住民の大事な交通手段です 会社側 自治会への説明を約束

同路線の減便案については、昨年から同社を含む野洲市・湖南市の関係者らで協議が設置され協議されてきました。27日の要望では、住民の生活にかかわる大事な問題であり、「行政や協議会に諮るだけでなく、市民の声を聞くための機会を持つべきである」と指摘しました。これに対し、バス減便は路線の廃止につながるりかねません。日本共産党は市民のみならず、一緒に、バス路線を守り、安心して暮らせる、まちづくりへがんばります。



やす民報

日本共産党野洲市委員会
2009年5月10日 175

暮らしのご相談・要望
お寄せください

小菅六雄
野並享子
太田健一

(電話・FAX) 589-4971

(電話・FAX) 587-0985

(電話・FAX) 588-3169

(メール) shgdy177@ybb.ne.jp

(メール) no73kyo_ko@ybb.ne.jp

(メール) kensan.world21@docomo.ne.jp